

# 渡辺大三

週刊 NEWS



【会派NEWS】 2019(令和元)年9月5日号 週刊 Vol.28  
 ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301  
 TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

## 市長、市民の意見聞かずに方針

## 庁舎＋福祉会館建設 耐震レベルと広場面積

構造の比較について

	A案	B案	C案
	基本設計者の技術提案書 庁舎:地下免震 福祉会館:耐震	庁舎:地下免震 福祉会館:地下耐震	庁舎:地下免震 福祉会館:地下免震
概略図			
構造	 庁舎:免震 福祉会館:耐震	 庁舎:免震 福祉会館:耐震	 庁舎:免震 福祉会館:免震
概算コスト※	75億円	82億円	83億円
工期	福祉会館 : 14か月 庁舎 : 27か月	福祉会館 : 19か月 庁舎 : 27か月	福祉会館 : 21か月 庁舎 : 27か月
広場面積	1,270㎡	2,840㎡	2,840㎡
駐車場台数	126台(地上83台、地下43台)	126台(地上17台、地下109台)	126台(地上17台、地下109台)
備考	-	・福祉会館地下駐車場で+7億円増 ・福祉会館東側の既存樹木を残せない。	・福祉会館地下駐車場で+7億円増 ・総免震化により+1億円増 ・福祉会館周辺の既存樹木を残せない。

※概算コストは、技術提案時の建設費とする。

9月4日の本会議で、市庁舎と福祉会館の複合建設の基本設計に関する「市長報告」を行いました。その際に配られた図面が表面掲載の図面です。

西岡市長の報告の内容は、端的に言い換えれば、「市庁舎は揺れない免震構造にするが、福祉会館は免震を採用せずに済ませたい」「地下に駐車場の大半を入れれば、地上に広場が2840㎡確保できるが、そうはせず、広場は半分以下の1270㎡程度で済ませたい」というものです。表面の図面で言いますと、市長はA案を採用したいということです。

実は、この複数案を比較できる図面は、私が作成を求めたものでした。おかしいな、と思うのは、議会の意見も市民の意見も聞かず、市長の「方針」が打ち出されたことです。本来なら、この図面をもとに、議会での議論、市民的議論が行われるべきです。

市長の考え方で疑問に思うのは、①市長や議員、職員がいる市庁舎は揺れが少ない免震システムを採用するのに、高齢者、身体障がい者、乳幼児が利用する福祉会館には採用しないという点について市民の理解が得られるか。②B案だと7億円、C案だと8億円のコスト増になると言うが、新庁舎が完成すれば不要になる現在の市役所本庁舎用地を売却すれば10～11億円の売却益が得られるので、それを充当すれば、市民負担増や借金増をしないで対応できるのではないかと。③西岡市長は就任後、選挙公約に違反して、大幅に職員人件費を増やしてしまった。その何年か分で7～8億円程度は捻出できるはずだった。ということです。職員にはパラマキ、子どもたちや高齢者など幅広い市民が使う広場の設置にはお金を出不さない…ひどい市政だと思います。

庁舎建設予定地(蛇の目ミシン工場跡地)は、バブル経済の影響で地価が極めて高い時期に購入した、市民の貴重な財産です。周辺はいわゆる「公園空白エリア」であり、地上の大半を駐車場で覆ってしまうA案がいいのか、一定の投資はしても、地下に駐車場を設置し、地上には大きな広場空間を整備した方がいいのか、よく議論した方がいいと思います。

議論もしないで結論を出す西岡市政は、「対話」は看板だけ、独善的だと言わざるをえません。

## 渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補し、当選)。「脱ムダ改革」を掲げ、高額人件費問題など小金井市政のムダ遣いや不正、癒着、天下りを厳しくチェック。

## 視界さえぎる危険なフェンス

中町-緑町の境、高架下

白⇒透明に変更させました

Before～接近する車が見えない～



After～接近する車が見える～



私は「まちなおし」の提案活動を続けています。少しの工夫で、都市景観、利便性、安全性を向上させる取り組みです。

JR中央線の高架下(中町3丁目と緑町5丁目の境の辺り)に学生向けのコミュニティーハウスが建築されることから、工事業者がフェンスを設置しました。ところが、白いフェンスを設置したため、写真(Before)のように、中山谷通り(農工大学の西側の南北通り)と中央通り(JR中央線高架側道)の交差点で左右から来る自動車や自転車の確認ができない事態が発生しました。出会いがしらの衝突事故を誘発しかねない、極めて危険な状況です。

そこで私は、8月23日、小金井市交通対策課に対し、「白いフェンスではなく、透明のフェンスに替えるなどの善処を」との要望書を送付しました。

交通対策課は即日現地を視察し、事業者(JR中央ラインモール)に改善を依頼しました。

その結果、白いフェンスは即日撤去され、その後、写真(After)の通り、透明フェンスが設置されました。